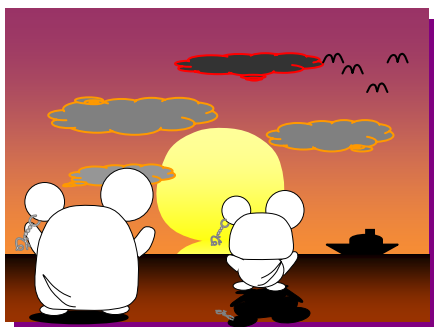




2008年11月11日 青森地方気象台発行

【10月の気象経過】 観測値は次ページの図表資料をご参照ください。

『上旬』 この期間は、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過しました。4 日朝、県内を通過した寒冷前線により津軽で雷雨となった所がありました。6 日は、日本海中部と関東南岸を北上した 2 つの低気圧の影響で昼前から雨となり、三八上北と下北で日降水量が 30 ミリ前後となった所がありました。9 日は、東北北部を通過した気圧の谷の影響で午後を中心に雨となり、深浦では日最大 1 時間降水量 (14 時 20 分) 21.5 ミリの強い雨を観測しました。

『中旬』 この期間は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。11 日は未明から朝にかけて、寒冷前線の通過により津軽でやや強い雨が降り、今別、鯉ヶ沢、八甲田山のアメダス地点では日降水量が 20 ミリを超えました。12 日は、青森県の上空約 1500 メートルに 0 度以下の寒気が入り、八甲田山の初冠雪を観測しました (平年より 4 日早く、昨年より 1 日早い)。

『下旬』 この期間は、短い周期で気圧の谷や前線が通過し、曇りや雨の日が多くなりました。26 日は、夕方通過した寒冷前線により雨となり、青森では短い時間でしたが雷やあられを観測しました (図 1、2 参照)。この日以降、青森県の上空約 1500 メートルに 0 度以下の寒気が入り、29 日には青森市酸ヶ湯 (標高 890m) で日最深 8 センチの初積雪と、岩木山の初冠雪を観測しました (平年より 14 日遅い、昨年より 4 日早い)。

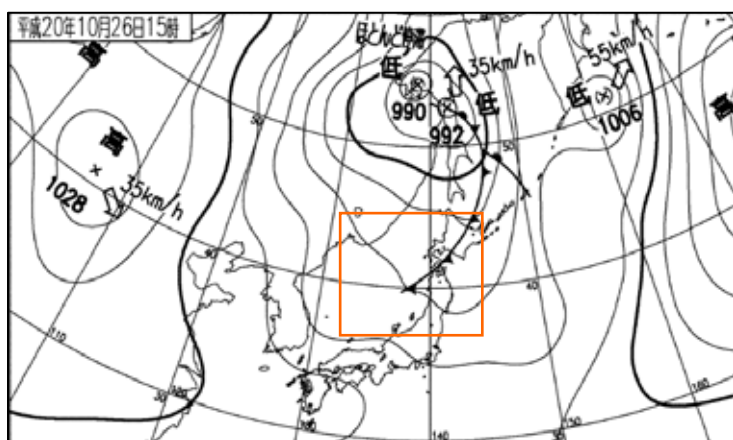


図1 2008年10月26日15時
速報地上天気図

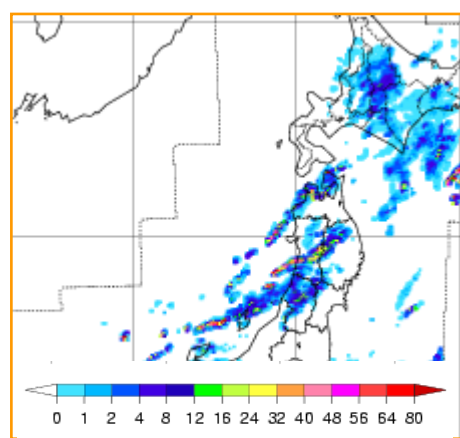


図2 2008年10月26日15時
レーダー強度画像 (mm/h)

【解説】 ～寒冷前線～

前線は、温度や湿度などの異なる空気の性質の境界に形成されます。寒冷前線は寒気側から暖気側に移動する前線のことをいい、寒気が暖気を押し上げながら移動するため、前線付近では積乱雲や積雲の対流性の雲を伴うことが多くなります。このため、寒冷前線の接近や通過時には急な強い雨や雷、突風、ひょうなどの激しい気象現象が現れやすくなります。また、寒冷前線の通過後は、寒気が流れ込むため、気温が低くなる特徴があります（図3参照）。

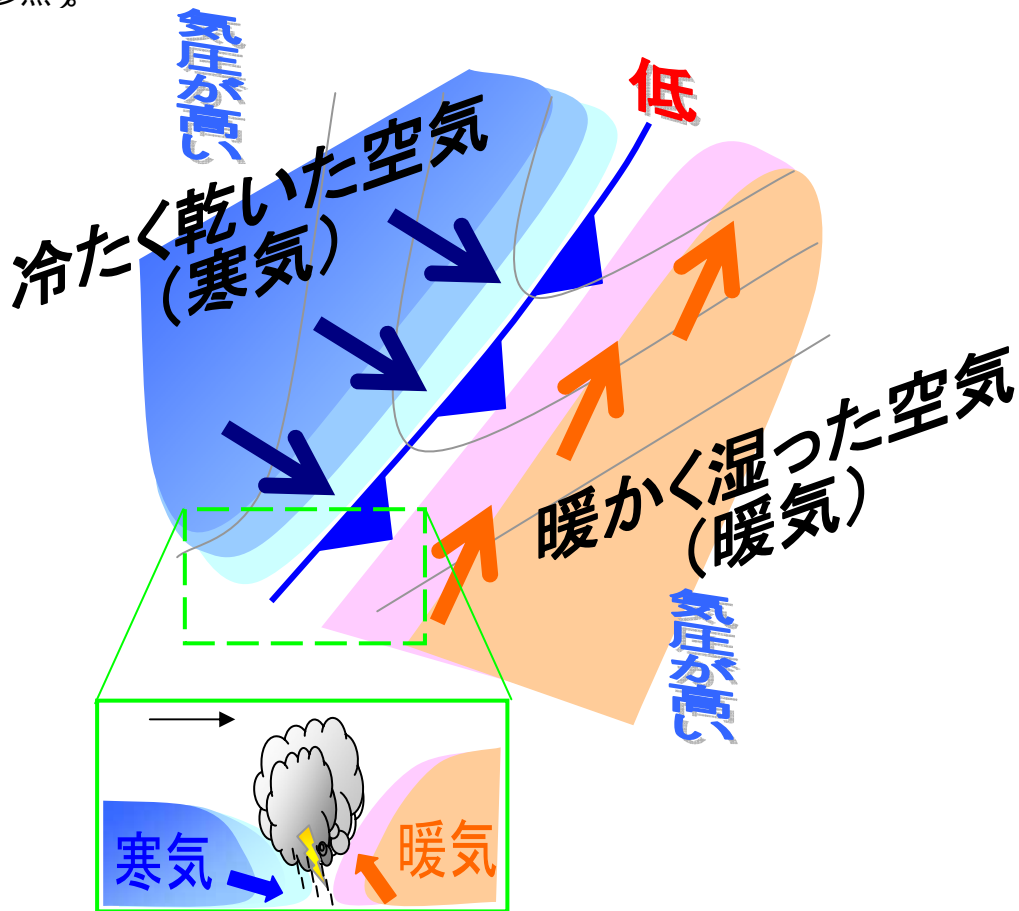


図3 寒冷前線の模式図

【東北地方1か月予報】【11月8日～12月8日までの天候見通し】 最新の予報をご利用ください。

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は平年並の確率が50パーセントです。

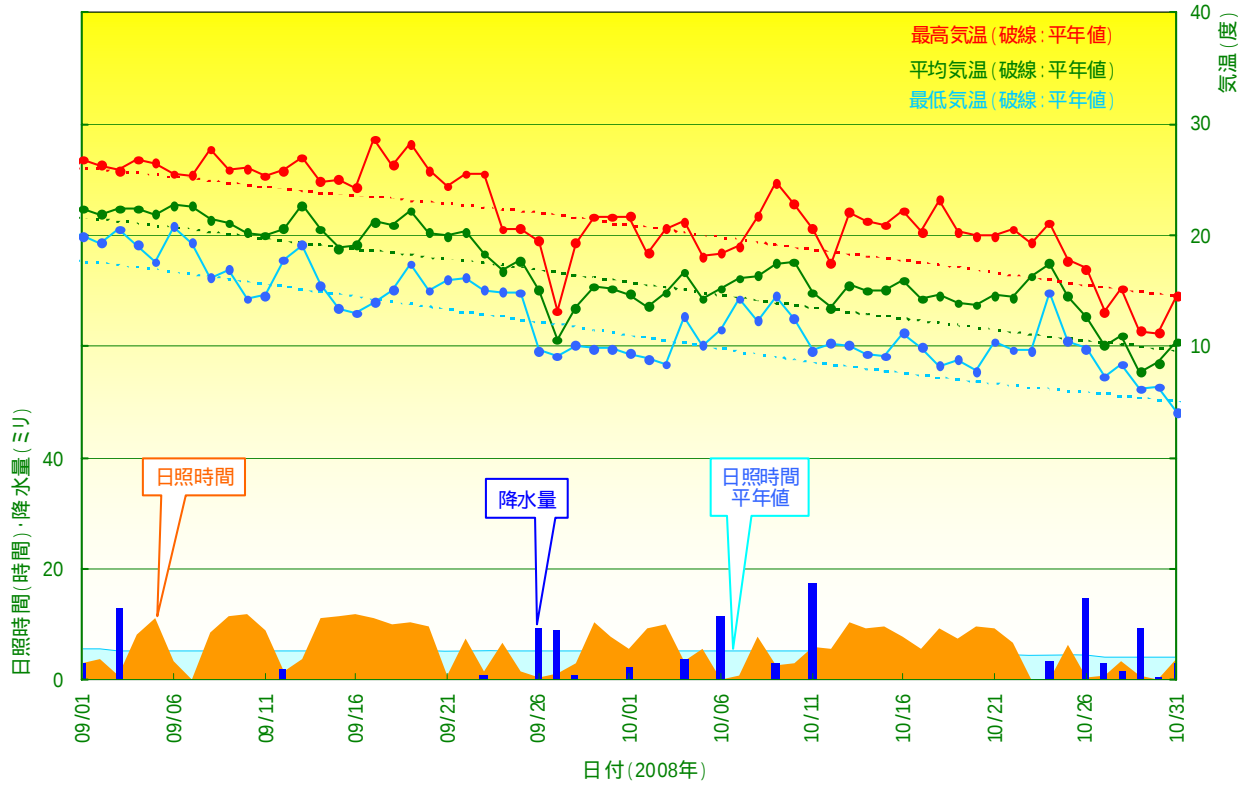


（この原稿の作成 技術課 石鳥技術専門官）

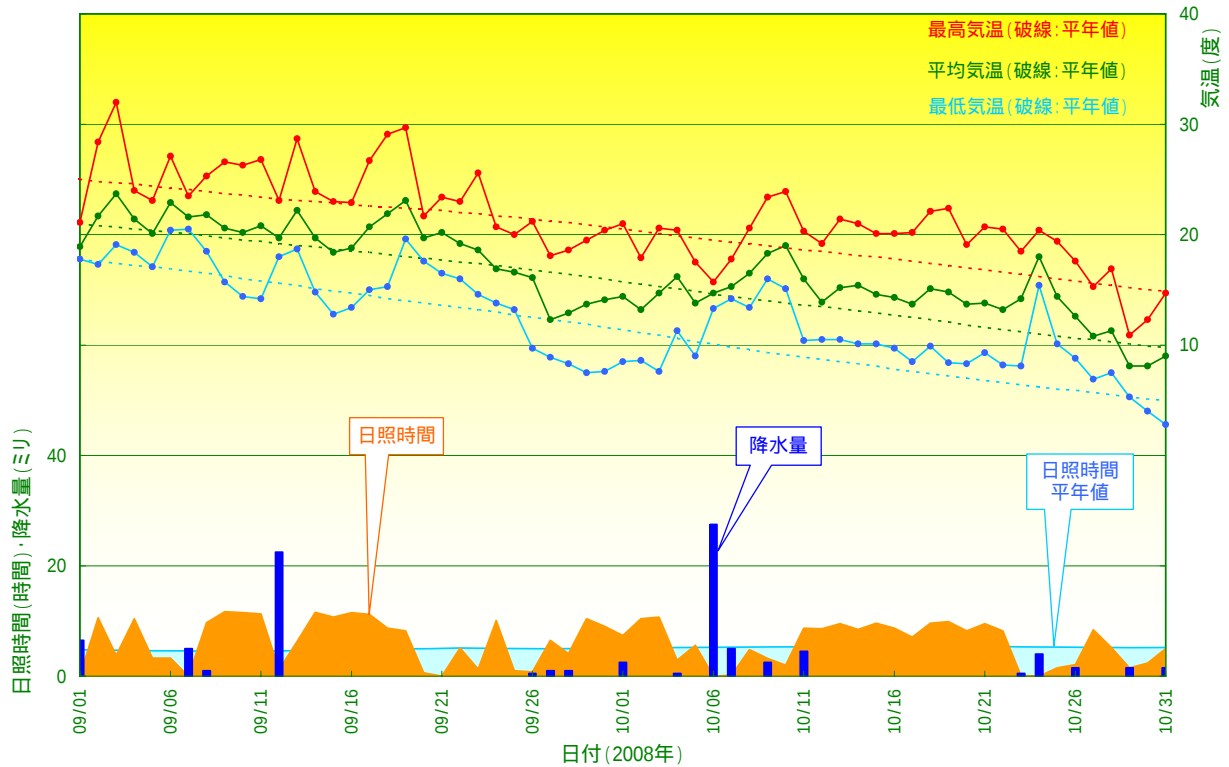
掲載したデータは速報値であり、品質管理によって後日修正されることがあります。

編集長 青森地方気象台技術課 気象情報官 （電話 017-741-7411）

【ここ2か月間の気象経過（青森）】



【ここ2か月間の気象経過（八戸）】



【10月の青森県気象分布図】(アメダスデータ統計値使用)

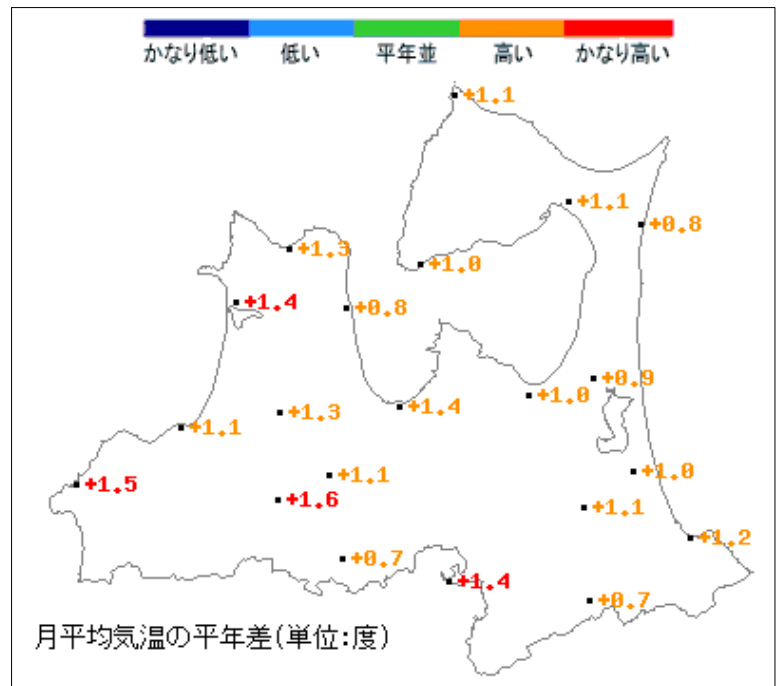
【月平均気温】

上旬は、初め「低い」状況でしたが、旬の半ば以降は概ね「平年並」となり、旬の終わりは「かなり高い」状況でした。上旬の平均気温は「平年並」でした。

中旬は、初め「平年並」でしたが、13日からは「高い」状況で経過しました。中旬の平均気温は「高い」状況でした。

下旬は、中頃まで「高い」状況で経過し、特に23日から24日は「かなり高い」状況となりました。旬の終わりには「低い」状況となりました。

月平均気温は平年に比べて「高い」状況でした。



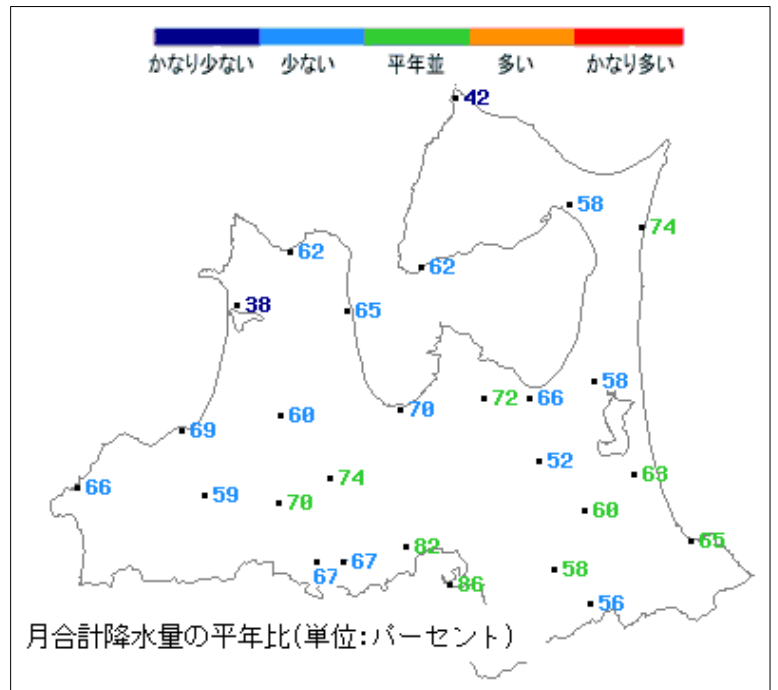
【月降水量】

上旬は、天気が周期的に変わり、5日、6日、9日にまとまった雨を観測しました。上旬の降水量は三八で「多い」他は概ね「平年並」でした。

中旬は、11日に全般に降水を観測し多い所で10から20ミリの降水を観測しましたが、12日から晴れた日が続きました。中旬の降水量は「少ない」状況でした。

下旬は、短い周期で気圧の谷や前線が通過し、曇りや雨の日が多く、下旬の降水量は、下北で概ね「多い」他は、津軽と三八上北は概ね「平年並」でした。

月降水量は平年に比べて津軽と下北は「少ない」、三八上北は概ね「平年並」の状況でした。



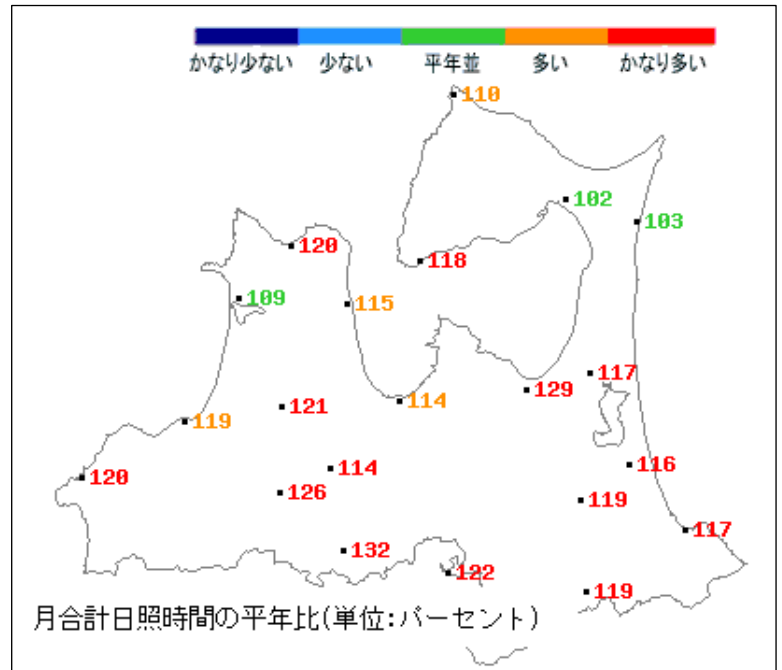
【月間日照時間】

上旬は、津軽で概ね「多い」、下北と三八上北で「平年並」の状況でした。

中旬は、各地とも「かなり多い」状況でした。

下旬は、各地とも「少ない」状況でした。

月間日照時間は平年に比べて津軽と三八上北で概ね「かなり多い」、下北で「平年並」から「かなり多い」状況でした。



【編集後記】

11月に入り、平地でも初雪の便りが聞かれるようになりました。今年の「あおぞら彩時記」も今月号（第7号）で終了です。ご愛読ありがとうございました。12月から「あおもりゆきだより」がスタートとなります。「あおもりゆきだより」の構成や発行間隔などについて、現在検討しています。皆さんに、今冬も降雪の経過や気象経過をわかりやすくお伝えしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

（蒲公英）

県内気象官署の気候表 (2008 年 10 月)

青森地方気象台

	気温			降水量			日照時間		
	平均 ()	平年差 ()	階級	合計 (mm)	平年比 (%)	階級	合計 (時間)	平年比 (%)	階級
上旬	15.7	+1.0	高い	21.0	66	平年並	49.1	89	平年並
中旬	14.6	+1.9	高い	17.5	60	平年並	81.5	160	かなり多い
下旬	12.5	+2.0	高い	36.0	80	平年並	32.5	69	少ない
月	14.2	+1.6	高い	74.5	70	少ない	163.1	107	平年並

八戸特別地域気象観測所

	気温			降水量			日照時間		
	平均 ()	平年差 ()	階級	合計 (mm)	平年比 (%)	階級	合計 (時間)	平年比 (%)	階級
上旬	15.6	+0.9	高い	38.0	147	多い	47.2	89	少ない
中旬	14.7	+1.8	高い	4.5	22	少ない	88.4	169	かなり多い
下旬	12.1	+1.4	高い	9.0	29	平年並	43.9	76	少ない
月	14.1	+1.4	高い	51.5	67	平年並	179.5	110	多い

深浦特別地域気象観測所

	気温			降水量			日照時間		
	平均 ()	平年差 ()	階級	合計 (mm)	平年比 (%)	階級	合計 (時間)	平年比 (%)	階級
上旬	15.7	+0.5	平年並	50.5	100	平年並	52.8	106	多い
中旬	15.4	+1.9	高い	11.5	23	少ない	72.9	160	かなり多い
下旬	13.3	+1.9	かなり高い	48.5	76	平年並	25.5	63	少ない
月	14.8	+1.5	かなり高い	110.5	67	少ない	151.2	112	多い

むつ特別地域気象観測所

	気温			降水量			日照時間		
	平均 ()	平年差 ()	階級	合計 (mm)	平年比 (%)	階級	合計 (時間)	平年比 (%)	階級
上旬	14.7	+0.5	平年並	26.0	65	平年並	44.0	80	少ない
中旬	13.9	+1.6	高い	12.5	35	少ない	77.5	145	かなり多い
下旬	11.8	+1.5	高い	28.5	73	平年並	35.0	66	かなり少ない
月	13.4	+1.2	高い	67.0	58	少ない	156.5	98	平年並

平年値は1971年～2000年の30年間の平均値

階級は、平年値作成期間30年間の観測値のうち、上位1/3相当を「高い(多い)」、中位1/3相当を「平年並」、下位1/3相当を「低い(少ない)」と表現します。さらに、上位1/10相当と下位1/10相当は「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」と表現します。

日別値等、更に詳しいデータを必要とされる場合は、
気象庁・気象統計情報 (<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)をご覧ください。

デ - タに付加する記号の意味
値) : 準正常値、統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが許容する資料数を満たす値。
値] : 資料不足値、統計値を求める対象となる資料が許容をする資料数を満たさない値。資料不足値には、十分な信頼性はありません。

県内気象官署月統計値の極値・順位更新(2008年10月)

月平均気温高い方から(順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)

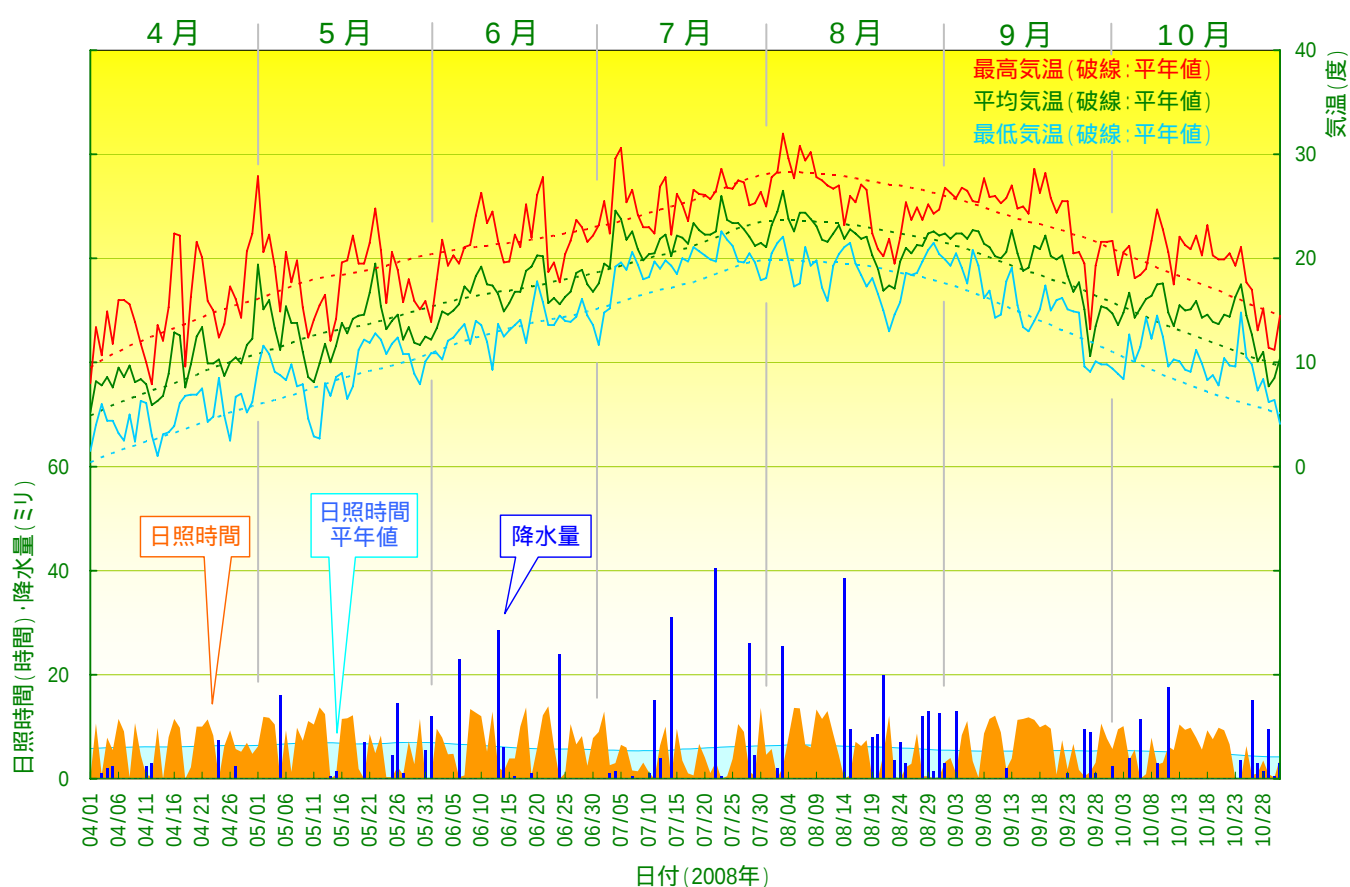
順位	地点	平均気温 ()	これまでの最高 () (西暦年)	開始年
2	深浦	14.8 =	15.9(1979)	1940
3	青森	14.2 =	14.9(1998)	1886

月間の気温、降水量、日照時間について、各気象官署毎の統計開始から3位以内を記録した場合に一覧表に掲載します。

今年の春から秋を振り返って

月刊「あおぞら彩時記」も最終号となりました。半年間のご愛読ありがとうございました。以下に、今年 4 月～10 月までの「あおぞら彩時記」の記事のダイジェスト版をお届け致します。

【青森の気象経過（平成 20 年 4 月～10 月）】（青森地方気象台観測）



4 月：少雨

低気圧が本州南岸を通ることが多かったことや、日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われることが多かったため、湿った東よりの風の影響を受けやすかった三八上北や下北で、月平均気温が平年並みの所が多く、影響の少なかった津軽では、月平均気温が平年より 1 度程度高くなりました。月を通して低気圧の影響を受けにくかったため、月降水量が平年比 40 パーセント前後とかなり少ない所が多くなりました。



4 月（青森）	今年	平年差（比）	階級
月 平 均 気 温	9.3 度	+1.4 度	かなり高い
月 合 計 降 水 量	21.0 ミリ	35 %	かなり少ない
月 合 計 日 照 時 間	181.5 時間	97 %	平年並

5 月：気温の変動が大きい

上旬は、高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多く、特に 1 日は県内の広い範囲で夏日となりました。

中旬は天気が周期的に変わり、期間の前半は気温が低く、12 日に青森で霜と結氷を観測するなど、13 日にかけては所々で最低気温が平年に比べて 7～8 度も低くなりました。

下旬は曇りや雨の日が多く、最高気温も上がりず肌寒く感じました。26 日は寒冷前線の通過に伴い、所々で雷を伴い短時間に強い雨が降りました。ひょうが降った所もあり、板柳町、鶴田町、五所川原市、青森市などで農作物に被害が出ました。



5 月（青森）	今年	平年差（比）	階級
月 平 均 気 温	13.4 度	+0.3 度	平年並
月 合 計 降 水 量	50.5 ミリ	64 %	少ない
月 合 計 日 照 時 間	200.5 時間	95 %	平年並

6 月：藤崎町で竜巻による被害

東北北部の梅雨入りは、平年より 11 日遅い 6 月 23 日ごろ（確定値）

上旬前半は、太平洋側を中心に湿った東風の影響で気温の低い日が続きました。後半は高気圧に覆われ概ね晴れて、気温も平年を上回る日が続きました。

中旬は、13日、青森県の上空約5500メートルに氷点下20度以下の寒気を伴った気圧の谷が接近し、大気の状態が不安定となり雷やひょうの降った所がありました。また、藤崎町では13日午前10時40分頃に竜巻が発生し、家屋やりんごの樹木の倒木などの被害が発生しました。

下旬は、前半湿った東風の影響で太平洋側を中心に曇りがちの天気で、弱い雨の降った所が多くなりました。23 日夜から梅雨前線上の低気圧が北上したため太平洋側では大雨となり、八戸では 24 日にかけて、6 月としての月最大 24 時間降水量が 156.0 ミリと、この統計を始めた 1971 年以来最も大きな値となりました。



6月(青森)	今年	平年差(比)	階級
月平均気温	16.8 度	-0.2 度	平年並
月合計降水量	95.0 ミリ	116%	多い
月合計日照時間	194.8 時間	108%	平年並

7月：上旬から中旬にかけて高温

上旬から中旬にかけては高気圧の張り出しにより、南からの暖かい空気が入りやすくなり気温は高くなりました。一方、中旬以降上空の寒気の影響等で大気の状態が不安定となり、また低気圧や前線の影響で曇りや雨となる日が多くなりました。



7月(青森)	今年	平年差(比)	階級
月平均気温	21.9 度	+0.8 度	高い
月合計降水量	125.5 ミリ	122%	多い
月合計日照時間	137.4 時間	77%	少ない

8月：後半からの低温と日照不足

東北北部の梅雨明けは、平年より 9 日遅い 8 月 5 日ごろ(確定値)

8 月前半は晴れて日照時間は平年より多く、最高気温も 30 度を超える日が多く、夏らしい天候で経過していましたが、一転して 19 日頃からは、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った東よりの風の吹きつけや寒気の影響で、曇りや雨の天気となり最高気温が平年より 5 度以上も低く、秋を思わせるような肌寒い日が続きました。特に、青森県上空に寒気が入った 21 日、23 日は最高気温が上がらず、青森大谷・黒石・酸ヶ湯・十和田・碓ヶ関・休屋・三戸では、8 月として最高気温の低い方からの観測史上 1 位を更新しました。また、県内は 8 月後半から日照時間が少ない状態となり、下北と三八上北では、8 月下旬の平年比が 20 パーセント前後とかなり少なくなりました。



8月(青森)	今年	平年差(比)	階級
月平均気温	21.9 度	-1.1 度	低い
月合計降水量	164.5 ミリ	127%	多い
月合計日照時間	160.3 時間	84%	少ない

9月：上旬・中旬の高温、下旬の低温

上旬から中旬にかけて、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、気温が高く日照時間が多くなりました。下旬は、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなり、気温が低く日照時間も少ない状態となりました。26 日夜は上空に強い寒気が流れ込み大気の状態が不安定となったため、津軽地方ではひょうの降った所がありました。27 日には青森県の上空約 1500 メートルに 0 度以下とこの時期としては強い寒が入り、等圧線の間隔が込みあった西高東低の気圧配置となりました。青森県では北西の風が強く、日本海側を中心に雨が降

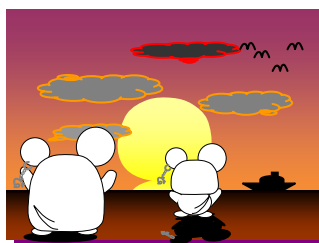
りました。27 日の青森の最高気温は 13.2 度と 1886 年（明治 19 年）の観測開始以来、9 月としては最も低い値となるなど、10 月下旬並みの寒さとなりました。



9 月（青森）	今年	平年差（比）	階級
月 平 均 気 温	19.6 度	+0.7 度	高い
月 合 計 降 水 量	38.5 ミリ	32 %	かなり少ない
月 合 計 日 照 時 間	195.6 時間	122 %	かなり多い

10 月：中旬は日照時間がかなり多い

上旬と下旬は、短い周期で気圧の谷や前線が通過し、曇りや雨の日が多くなりました。前線の通過時には雷雨や短時間の強い雨となった所がありました。中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、県内のアメダス地点すべてで日照時間が平年の 2 倍程度とかなり多くなりました。



10 月（青森）	今年	平年差（比）	階級
月 平 均 気 温	14.2 度	+1.6 度	高い
月 合 計 降 水 量	74.5 ミリ	70 %	少ない
月 合 計 日 照 時 間	163.1 時間	107 %	平年並

（この原稿の作成 技術課 久塚気象情報官）